

平成 28 年度 第 1 回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨（案）

日 時 平成 28 年 4 月 11 日（月） 14：00～16：50
場 所 管理棟 2 階 小会議室
構 成 員 8 名（出席者 7 名、欠席者 1 名）

（幹事会委員）

| | |
|---------------------|---------------------|
| 11 号委員（がんセンター長） | 増田 昌人 |
| 16 号委員（沖縄県立中部病院） | 朝倉 義崇 |
| 16 号委員（那覇市立病院） | 友利 寛文（欠席） |
| 17 号委員（沖縄県立宮古病院） | 松村 敏信 |
| 17 号委員（沖縄県立八重山病院） | 玉城 和光 |
| 18 号委員（北部地区医師会病院） | 柴山 順子 |
| 21 号委員（沖縄県保健医療部） | 糸数 公（代理：山川宗貞健康長寿課長） |
| 21 号委員（琉球大学医学部総務課長） | 金城 邦光 |

（陪席者）

| | |
|--------------------|-------------|
| 沖縄県保健医療部健康長寿課がん対策班 | 徳田 麻紀子 |
| 沖縄県立中部病院 | 榊 智佳 |
| がんセンター | 呉屋 葉子、高橋 ユカ |
| 医学部総務課総務第二係 | 本郷 弘子 |

○議長から、新年度第1回幹事会の開催に際し挨拶を行い、順次構成員により自己紹介を行った。引き続き山川健康長寿課長から、沖縄県保健医療部健康長寿課に「がん対策班」が新しく組織されたことについて補足説明があった。

○議事の進行に際し議長から、会議資料はiPadにより進行することの説明と、机上配付された冊子等の資料について次の説明があった。

- ・「おきなわがんサポートハンドブック」第6版について2万部作成した。県民にはこれまでの配付とあわせると合計12万部を配ることになる。
- ・「がん患者さんのための療養場所ガイド」について、離島患者さんの要望に応え地域別療養場所ガイドを作成した。がん医療に関して離島地域の県立病院等、地元地域で完結できる地域の病院の活用について広く情報発信することに活用する。
- ・「ご家族のためのがん患者さんとご家族をつなぐ在宅療養ガイド」について、帝京大学腫瘍内科渡邊先生が中心に活動する「地域におけるがん患者の緩和ケアと療養支援情報プロジェクト」の成果を纏めた冊子の紹介。県内の訪問看護ステーションや自治体等へ配付する予定。書店でも購入可。

議事要旨・委員一覧

1. 平成 27 年度第 4 回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨（1 月 18 日開催）について

議長から、資料 1 に基づき、第 4 回幹事会議事要旨（平成 28 年 1 月 18 日開催）の確認があった。

2. 平成 27 年度第 4 回沖縄県がん診療連携協議会議事要旨（2 月 19 日開催）について

議長から、資料 2 に基づき、第 4 回協議会議事要旨（平成 28 年 2 月 19 日開催）の確認があった。

3. 平成 27 年度第 4 回沖縄県がん診療連携協議会議事録（2 月 19 日開催）について

議長から、資料 3 に基づき、第 4 回協議会議事録（平成 28 年 2 月 19 日開催）の確認があった。

4. 協議会・幹事会・部会委員一覧について

議長から、資料 4 に基づき、以下の委員の変更について報告があった。

（協議会委員）

- | | |
|---------------------|-------|
| ・ 2 号委員 沖縄県立中部病院病院長 | 本竹 秀光 |
| ・ 2 号委員 那覇市立病院病院長 | 屋良 朝雄 |

- ・ 9号委員 沖縄県政策参与 (委嘱依頼予定・確認中)
- ・ 10号委員 沖縄県保健医療部長 砂川 靖
- ・ 15号委員 琉球大学医学部事務部長 熊谷 圭司
- ・ 16号委員 沖縄県立中部病院副院長 比嘉 真利子
- ・ 17号委員 沖縄県立八重山病院副院長 玉城 和光
- ・ 17号委員 沖縄県立八重山病院看護部長 渡口 直子
- ・ 21号委員 琉球大学医学部附属病院病理部長 加留部 謙之輔

(幹事会)

- ・ 17号委員 沖縄県立八重山病院副院長 玉城 和光
- ・ 12号委員 沖縄県保健医療部保健衛生統括監 糸数 公

(緩和ケア部会)

- ・ 北部医師会病院外科医師 野里 栄治

(がん登録部会)

- ・ 沖縄県立中部病院経営課 嘉手苺 林俊
- ・ 沖縄県衛生環境研究所 大城 裕子

(研修部会)

- ・ 琉球大学医学部附属病院副看護部長 小渡 清江
- ・ 那覇市立病院リハビリテーション室主任理学療法士 金城 孝郎

(地域ネットワーク部会)

- ・ 琉球大学医学部附属病院第一外科助教 金城 達也

審議事項

1. 沖縄県地域医療構想検討会議における宮古医療圏の病床数削減問題について

議長から資料5に基づき、協議会委員から提出された要望書について説明があった。引き続き、沖縄県の高齢者人口と必要病床数の推計値について、県全体として北部・宮古・八重山は計算上減り中部・南部は増えること、県の地域医療構想検討会議では計算上の数値を元に策定しており、現在、各地域保健所長が議長となる二次保健医療圏毎に議論が進み計算値通り決まる訳ではない旨、補足説明があった。

当該案件の本協議会での取扱いについて意見交換を行った結果、事実誤認部分について議長から説明を行った上で修正していただき、本協議会で審議することになった。審議に際して次のような意見があった。

- ・ 本協議会の中で、限定した地域の要望を取り扱うというのは不相当と思われる。
- ・ 地元でできる医療、離島の県立病院で治療ができることを広く周知する。
- ・ 医療構想の議論は難しく、地元宮古地区別会合部会から説明を受けた方がよい。
- ・ 幹事会では理解できるが本協議会では、県の保健医療政策課に当日説明をお願いしたい。
- ・ 啓発広報活動に関して玉城先生から取り組み状況について当日発言していただきたい。

2. 沖縄県がん対策推進のためのベンチマークセンターの設置に関する要望書の件について

議長から資料6に基づき、がん対策に必要な指標を定期的に把握・分析・公表するベンチマークセンターの設置について、沖縄県内のがんデータの収集、分析を県の受託事業の形で予算を作っていたいただきたい旨の説明があった。また、公表を前提に集約し、地域医療構想・保健医療計画の策定等、収集目的でなく情報を分析し政策立案への寄与が目的との補足説明があり、本協議会で審議することになった。

審議に際して次の様な意見があった。

- ・ データのレベル調整が必要と思われるが、是非とも設置は必要。
- ・ 他の医療機関、特定地域のデータ分析に活用が期待できる。

3. 医療者、行政、がん患者やその関係者との連携強化に関する要望について

議長から資料7に基づき、協議会委員から提出されたがん患者会が主催する研修会への医療関係者の参加要望について説明があった。情報媒体の多様化により病院内での情報伝達や情報共有の難しさがある旨、委員から発言があった。

本協議会当日は幹事会委員からも院内事情等について発言をお願いすることとなった。

4. 沖縄県がん診療連携協議会要項の改訂について

議長から資料8に基づき、八重山病院が地域がん診療病院に指定されたことにより、協議会要項の一部を改正する必要がある旨の説明があり、了承された。

5. 平成28年度の協議会・幹事会の開催日時について

議長から資料9に基づき、平成28年度の協議会・幹事会の開催日程について説明があり、了承された。

6. 平成28年度第1回協議会の議題調整について

議長から資料10に基づき、5月13日（金）開催予定の第1回協議会の議題案について説明があった。なお、審議事項1の病床数削減問題は、協議会要項の協議事項として合致しないが本幹事会として、要項第3条第11号で審議することが了承された。また、当該第3条第11号について「その他」だけに文言修正のうえ協議会に提案することが確認された。

審議の中で、「その他」だけの事項では事案が広義に渡り審議が難しいのではと委員意見があることに関しては、幹事会が協議会の議題調整の場であるので、幹事会でしっかり検討を要する旨、議長から協力要請があり、確認の結果原案どおり議題とすることが了承された。

7. その他

議長から、第1回協議会の報告事項として、例年、年度初めの協議会には沖縄県から予算及び決算の報告事項があり、現時点のがん対策費だけ抜き出しの予算資料等を提出し、説明いただきたい旨要請があり、県担当課にて確認し対応することになった。

報告事項

1. 2016年版 おきなわがんサポートハンドブックについて

議長から資料11に基づき、審議前に行った資料確認説明に補足して、当該冊子は薬局からの需要・要望が増えていることや図書館でも需要があること、図書館と連携した取組みを今年度から具体化して行う予定である旨の報告があった。

2. がん患者さんのための療養場所ガイドについて

議長から別冊資料に基づき、離島の要望に応える形でガイドを作成した旨報告があった。また、地元の病院における診療可能な情報をきちんと伝えることや、本ガイド本の再版やホームページ上での改訂について、補足説明があった。

3. 沖縄県がん対策推進計画（第2次）の中間評価について

議長から資料12に基づき、沖縄県の「がん対策推進計画中間評価検討業務委託事業」の分析報告書について報告があった。

4. 沖縄県のがん登録 2013年症例と2011年罹患（院内がん登録報告書）について

議長から別冊資料に基づき、県内16病院からのデータを医療機関区毎に分析し、臨床医等、専門家のコメントがあることで、より一般の方への理解が進むのではと報告があった。また、専門家コメントには各医療機関の専門分野の診療医に依頼して記述した旨の補足説明があり、今後は、委員各位の意見や意向等を取り入れ、より良い報告書にしたい旨の発言があった。

5. 沖縄県在宅医療人材育成・質の向上センターの活動報告について

議長から資料13に基づき、沖縄県在宅医療人材育成・質の向上センターの活動報告について、

報告があった。特徴として、半年後のアンケートを取りまとめているとの補足説明があった。

6. 沖縄県統括相談支援センターの活動報告について

議長から資料14に基づき、がん相談業務院内ピアサポートについて報告があった。グラフデータ等の内容について各自確認するよう発言があった。

7. 第56回がん対策推進協議会について

議長から資料15に基づき、厚生労働省のがん対策推進協議会について、平成28年度中に次期基本計画策定に向けた議論を行うという報告があった。なお、がん対策加速化プランの対応状況について個別に各自確認するよう発言があった。

また、病気を抱える方の治療と仕事の両立支援に関するガイドラインについて、琉球大学とハローワーク那覇が連携した事業を行うための協定を締結する旨、補足して説明があった。

8. がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針

議長から資料16に基づき、がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針について一部改正されたことの報告があった。

9. 事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン（平成28年2月）

議長から資料17に基づき、事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドラインについて報告があった。

10. 第8回 厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会

議長から資料18に基づき、B型ワクチン接種の定期接種化について文書化された事の報告があり、内容について各自確認するよう発言があった。

11. ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種後に生じた症状に関する厚生労働科学研究事業成果発表会

議長から資料19に基づき、ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種後に生じた症状に関する厚生労働科学研究事業成果発表について報告があり、当該研究成果報告については賛否両論分かれている旨の申し添えがあった。

12. 第19回緩和ケア推進検討会

議長から資料20に基づき、緩和ケア推進検討会について報告があり、今後、報告書が出されるので各自確認するよう発言があった。

13. 第16回がん検診のあり方に関する検討会

議長から資料21に基づき、がん検診のあり方に関する検討会の報告があり、指針の改正が行われたことの報告があった。

14. 第11回がん診療連携拠点病院等の指定に関する検討会

議長から資料22に基づき、がん診療連携拠点病院等の指定に関する検討会について、八重山病院が指定を受けた事の報告があった。また、確認すべきこととして指定の考え方について言及され、今後は資料の作成について県の担当者と合議し、アピールする必要がある旨の発言があった。

部会報告事項

議長から、各部会報告事項については割愛し、添付の資料について各自にて確認するよう発言があった。

その他

議長から県担当課長に対し、協議会報告事項の予算資料等の作成について依頼があった。